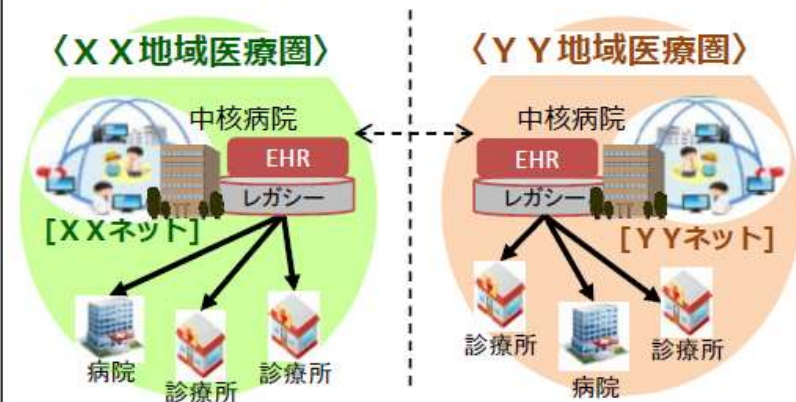


クラウド型EHR高度化事業 事業概要

- 医療機関や介護事業者をネットワークでつなぎ、患者の診療情報等の共有を図るための医療情報連携基盤(EHR)は全国各地に約240存在。しかしながら、施設の参加や患者の利用率が低いことや、異なるベンダー間での連携が図られていないこと等が課題。
- クラウドを活用し、標準に準拠した双方向の情報連携を進めることにより、EHRの利用価値が向上し、参加施設や患者の増加につながり、効果的な地域包括ケアや地域を越えた広域のデータ連携が実現。
- このために必要なクラウド型EHRの整備を行う事業に対して補助を実施。

【レガシーEHR】



■ 一方向の情報閲覧

ー参加病院・診療所からは中核病院の情報を「見るだけ」

■ 閉じたネットワークによる重いコスト負担

ー医療情報NWと介護情報NWは別であり、両システムに参加すると回線コストは倍増
 ーEHR間の連携は、システムごとに直接接続するために都度連結コストが発生(加えて、オンプレミスの異なるシステム間の接続は煩雑)

■ EHRごとに異なるデータ管理形式

ー医療等データの広域の二次利用が困難

EHR高度化支援の実施

【クラウド型高機能EHR】



■ 双方向の情報連携実現

■ クラウドの活用、標準準拠により低廉化、データ活用容易化

ー薬局や介護施設等も連結(訪問介護・看護の情報も統合)
 ーEHR未実装地域の病院・診療所とも連結しデータを蓄積・活用

事業の目的

本事業は、各地のEHRのシステム資産を有効活用しつつ、クラウド技術を活用してEHRを高度化することで、地域の医療機関、介護事業者等の双方向の情報連携や異なる地域の医療情報ネットワーク間の接続・情報連携、蓄積された診療情報の二次利用を可能とし、効果的な地域包括ケアや地域を越えた広域の医療情報連携の全国への普及展開へ寄与することを目的とする。

公募する事業

クラウド技術を活用して、地域のEHRを医療機関、介護事業者等の双方向の情報連携や異なる地域の医療情報ネットワーク間の接続・情報連携、蓄積された診療情報の二次利用が可能な基盤を整備する事業。

高度化を行う EHR の規模の 3 モデル

- 1: 二次医療圏(又は住民20万人以上の地域)内のネットワーク化
- 2: 複数の二次医療圏(又は住民20万人以上の地域)のネットワーク化
- 3: 三次医療圏のネットワーク化

徳島県全域医療連携ネットワーク構築事業



徳島県内における医療連携ネットワーク展開状況

ICTシステムを用いて診療情報を公開している医療機関

ID-Link
(NEC)

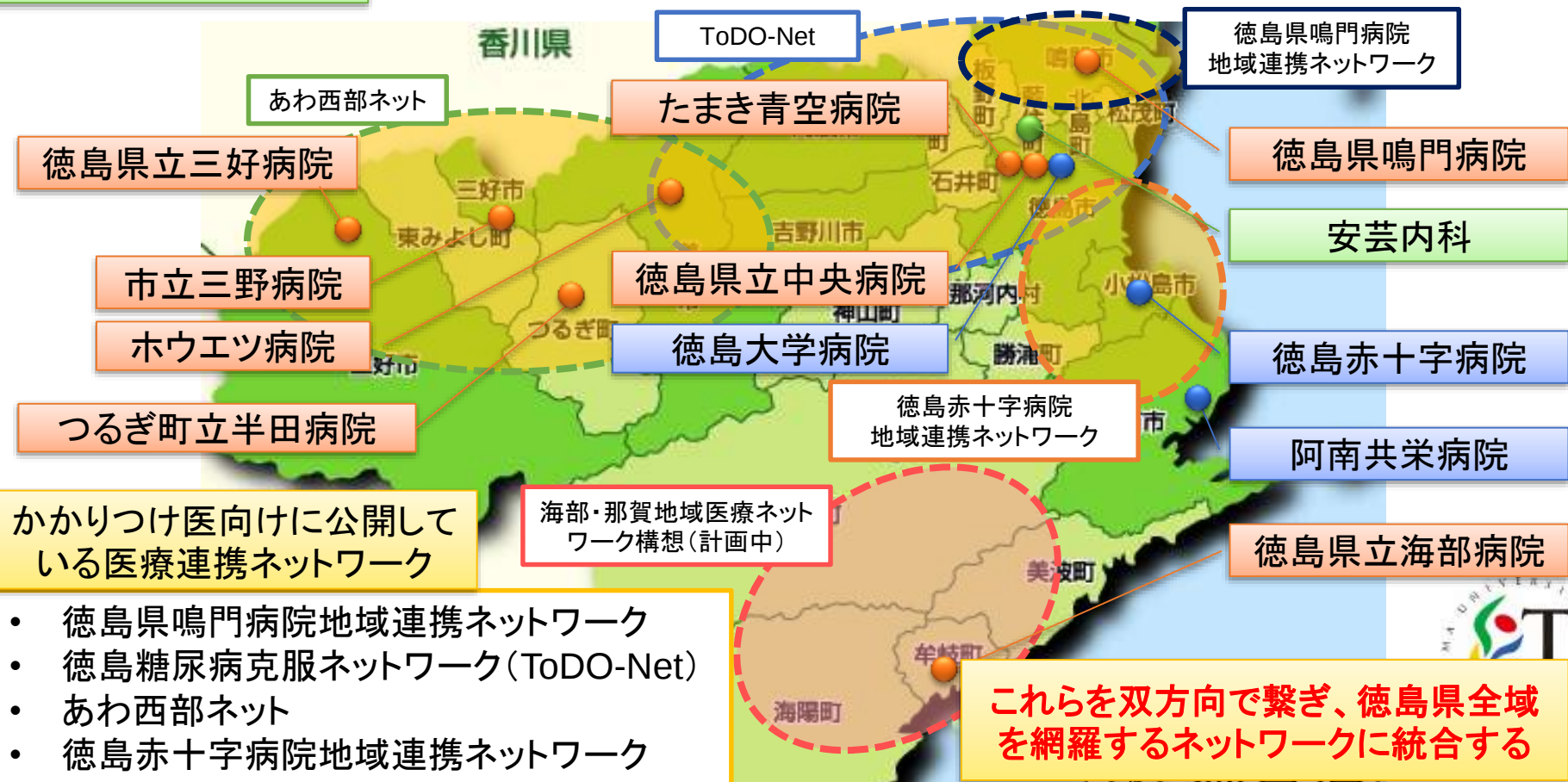
徳島大学病院、徳島赤十字病院、阿南共栄病院

HumanBridge
(富士通)

徳島県立中央病院、徳島県立三好病院、徳島県立海部病院、徳島県鳴門病院
市立三野病院、つるぎ町立半田病院、ホウエツ病院、たまき青空病院

糖尿病地域連携クラウド
(ユニシス)

安芸内科



達成目標

① システム基盤の整備

- 徳島県全域の施設を、双方向で情報共有可能にするネットワーク基盤を整備する
- 既存の医療連携ネットワークも繋げる

② 運営主体の整備

- 整備したネットワーク基盤の運用管理、事業の運営を継続する組織を整備する

達成目標

③ 参加施設 100施設以上

病院 18病院

診療所 60施設

在宅・介護施設 20施設

④ 参加者(同意患者) 県民人口の2.5%以上

18,900人

事業期間

2017年5月16日 ~ 2018年3月31日